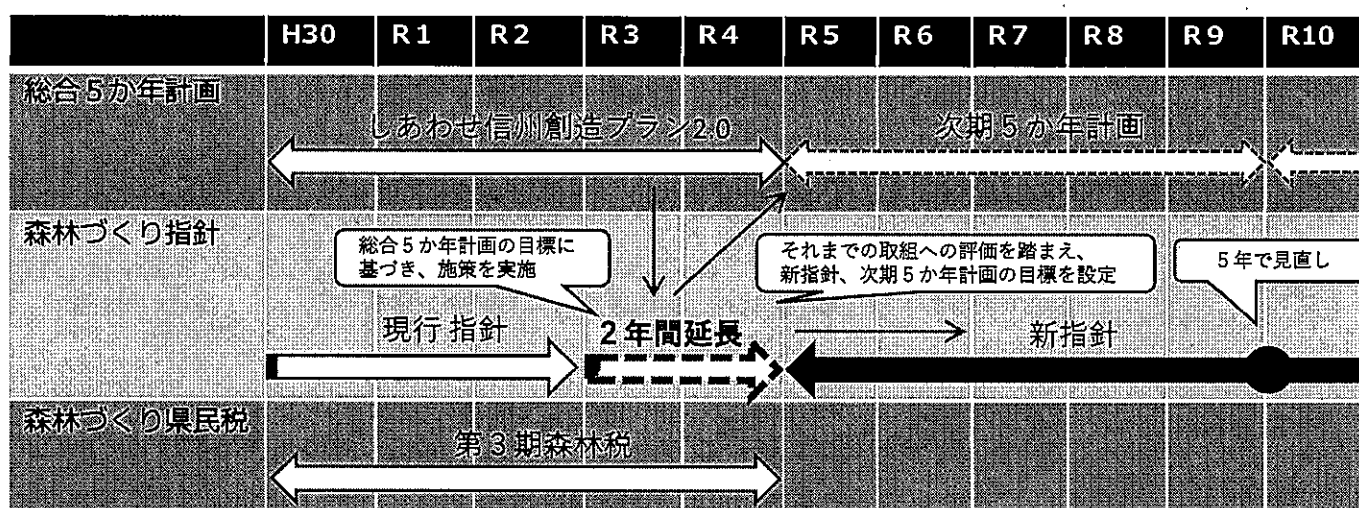


長野県森林づくり指針の計画期間の延長について

森林政策課

計画期間の2年延長

- H30年のしあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）の策定に当たっては、指針を踏まえて、2つの指標を森林・林業分野の関連目標に設定
- 指針の計画期間はR2年度まで、総合5か年計画はR4年度までと、**計画の期間に2年間のずれ**があることから、**整合と調和を図るため、R4年度まで現行指針の計画期間を2年延長**
- 計画期間の延長に当たり、**みんなで支える森林づくり県民会議等に意見を伺い、基本指標と施策目標の目標値を見直し**



指針の延長目標値の考え方

- 素材生産量は、総合5か年計画と同一の目標値を活用
- 素材生産量以外の目標は、総合5か年計画の目標値を設定した際に活用・検討した数値や、実績数値、関連する計画等を踏まえて目標値を設定

基本指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
民有林の整備 (50年後の針葉樹占有率) ※ 現行指針では、民有林の整備のみ目標年度を50年後（平成72年度＝令和42年度）に設定	59%	43% (※R42)	59%	間伐は進むも、皆伐が少なく、統計上の変化なし	43% (目標年度をR44とし、 現行指針の目標値を踏襲)
民有林の間伐 (期間累計)	-	18.4万ha	14.4万ha	条件困難地が残存、集約化の人員と現場労務が不足	20.3万ha (総合5か年計画の目標値設定に活用)
素材生産量 (年間)	30.5万m ³	75.0万m ³	56.4万m ³	製材は減少、合板は増加、バイオマスは今後増加見込	80.0万m ³ (総合5か年計画の目標値を活用)
林業就業者数	2.6千人	3.0千人	1.4千人	働き手の減少、保育事業の減少、不十分な就業環境	2.2千人 (総合5か年計画の目標値設定に活用)

施策指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
保全される集落数 (期間累計)	-	700集落	493集落	災害の激甚化・多様化による対策の遅れ	670集落 (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
山地災害危険地区 整備率 (期間累計)	18.3%	21.2%	20.8%	現行目標値はR2に達成 見込み	21.8% (過去の伸び率から算出)
間伐材搬出量 (年間：民有林)	14.3万m ³	23.8万m ³	14.1万m ³	H26～30は17～19万 m ³ で推移も、台風の影響 や搬出間伐から主伐 に移行しつつあり減少	28.0万m³ (総合5か年計画の 目標値設定に活用)
路網延長 (累計)	12,829km	14,429km	14,471k m	達成済み	14,719km (過去の伸び率から算出)
路網密度 (累計)	18.9m/ha	21.2m/ha	21.1m/ha	現行目標値はR2に達成 見込み	21.6m/ha (過去の伸び率から算出)
-素材生産量 用途別- 製材用 (年間)	169千m ³	414千m ³	179千m ³	住宅着工数の減少、合 板需要の増加により伸 び悩み	303千m³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
-素材生産量 用途別- 合板用 (年間)	76千m ³	119千m ³	234千m ³	達成済み	200千m³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
-素材生産量 用途別- チップ・バイオマス用 (年間)	60千m ³	217千m ³	151千m ³	木質バイオマス発電施 設の稼働が開始されて おり今後増加の見込み	297千m³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
県産材出荷量 (年間：製材品出荷量)	120千m ³	237千m ³	96千m ³	住宅着工数の減少、合 板需要の増加により伸 び悩み	200千m³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
森林の里親契約件数 (期間累計)	51件	100件	139件	達成済み	154件 (森林税基本方針の目標値)
ニホンジカ生息頭数 (保護管理計画策定時 点)	62千頭	31千頭	217千頭	生息頭数は5年毎の調 査で更新しており、R2 調査の推定により、R1 は217千頭と算出	184千頭 (R1生息頭数比15%減)
野生鳥獣被害に対す る支援集落数 (年間)	919集落 (被害集落 1,300集落)	全被害集落 に対し支援 を継続	665集落 (被害集落 939集落)	R元の被害発生集落で ある939集落の内665 集落を支援(70.8%)	対象集落の内、被害発生 集落の7割以上を支援 (過去の実績から算出)

主な意見 (みんなで支える森林づくり県民会議・地域会議、林業関係団体、林業事業者等)

●期間の延長について

- ・期間を2年延長して総合5か年計画等と整合を図ることは妥当。

●指標について

- ・素材生産量80万m³は、コロナ禍で搬出間伐等の素材生産が減少しており厳しいのではないかと。
- ・林業就業者2.2千人は、林業生産活動が停滞する中、林業事業体に新規雇用の体力はなく、雇用維持で精一杯の状況であり、厳しいのではないかと。

●次期指針の検討について

- ・細かい各指標の実績(成果)を数値化して、大きな項目に集約化し、林業経済効果など大項目に見える化してはどうか。
- ・目指す姿の100年レベルと、数値目標の10年レベルのギャップを埋める工夫が必要。

長野県森林づくり指針の計画期間の延長について

1 長野県森林づくり指針について

森林づくり指針は、長野県ふるさとの森林づくり条例第9条の規定により、県の森林づくりに関する基本的な展開方向を定めるものです。概ね100年先の本県のあるべき姿と、それを実現するための方向性を示しており、それらを見据えて今後10年間に行う県の施策の基本的な展開方向を定めており、平成22年に、平成23年度から平成32（令和2）年度までを計画期間とする目標値を設定しています。（参照：長野県森林づくり指針及びその概要）

2 計画期間の延長

県政運営の基本となるしあわせ信州創造プラン2.0、長野県総合5か年計画（以下、総合5か年計画）は計画期間を平成30年度から令和4年度としており、森林づくり指針を踏まえて森林・林業分野の関連目標を設定しています。

そこで、森林づくり指針と総合5か年計画の整合と調和を図るため、平成22年改定の森林づくり指針の計画期間を2年延長し、令和4年度までとします。

3 延長後の目標値の設定

- ・総合5か年計画の指標とした素材生産量は同一の目標値を活用
- ・素材生産量以外の目標値は、総合5か年計画の目標値を設定した際に活用・検討した数値や、実績値、関連する計画等を踏まえて延長後の目標値を設定

4 延長後の目標値

（1）基本指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長後の目標値 (R4)
民有林の整備 50年後の針葉樹 占有率	59%	43% ※当該項目の み目標年度を R42に設定	59%	間伐は進むも、皆 伐が少なく、統計 上の変化なし	43% 目標年度を R44 と し、現行指針の目標 値を踏襲
民有林の間伐 期間累計	-	18.4 万 ha	14.4 万 ha	条件困難地が残 存、集約化の人員 と現場労務が不足	20.3 万 ha 総合5か年計画の 目標値設定に活用
素材生産量 年間	30.5 万 m ³	75.0 万 m ³	56.4 万 m ³	製材は減少、合板 は増加、バイオマ スは今後増加見込	80.0 万 m ³ 総合5か年計画の 目標値設定に活用
林業就業者数	2.6 千人	3.0 千人	1.4 千人	働き手の減少、保 育事業の減少、就 業環境が不十分	2.2 千人 総合5か年計画の 目標値設定に活用

(2) 施策指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長後の目標値 (R4)
保全される 集落数 期間累計	-	700 集落	493 集落	災害の激甚化・多様化により対策に遅れ	670 集落 総合 5 か年計画の 目標値設定に検討
山地災害危険 地区整備率 期間累計	18.3%	21.2%	20.8%	現行目標値は R2 に達成見込	21.8% 過去の伸び率から 算出
間伐材搬出量 年間：民有林	14.3 万 m ³	23.8 万 m ³	14.1 万 m ³	H26～30 は 17～19 万 m ³ で推移も、台 風の影響や搬出間 伐から主伐に移行 しつつあり減少	28.0 万 m³ 総合 5 か年計画の 目標値設定に活用
路網延長 累計	12,829km	14,429km	14,471km	R1 実績は R2 目標 値を達成	14,719km 過去の伸び率から 算出
路網密度 累計	18.9m/ha	21.2m/ha	21.1m/ha	R2 目標値は R2 に 達成見込	21.6m/ha 過去の伸び率から 算出
-素材生産量 用途別- 製材用 年間	169 千 m ³	414 千 m ³	179 千 m ³	住宅着工数の減 少、合板需要の増 加により伸び悩み	303 千 m³ 総合 5 か年計画の 目標値設定に検討
-素材生産量 用途別- 合板用 年間	76 千 m ³	119 千 m ³	234 千 m ³	R1 実績は R2 目標 値を達成	200 千 m³ 総合 5 か年計画の 目標値設定に検討
-素材生産量 用途別- チップ・バイオマス用 年間	60 千 m ³	217 千 m ³	151 千 m ³	木質バイオマス発 電施設の稼働が開 始されており今後 増加の見込	297 千 m³ 総合 5 か年計画の 目標値設定に検討
県産材出荷量 年間：製材品出荷量	120 千 m ³	237 千 m ³	96 千 m ³	住宅着工数の減 少、合板需要の増 加により伸び悩み	200 千 m³ 総合 5 か年計画の 目標値設定に検討
森林の里親契約 件数 期間累計	51 件	100 件	139 件	R1 実績は R2 目標 値を達成	154 件 森林税基本方針の 目標値
ニホンカ生息頭数 保護管理計画策定時点	62 千頭	31 千頭	217 千頭	生息頭数は 5 年毎 の調査で更新して おり、R2 調査の推 定により、R1 は 217 千頭と算出。	184 千頭 R1 生息頭数比 15% 減
野生鳥獣被害に 対する支援集落 年間	919 集落 (被害集落 1,300 集落)	全被害集落 に対し支援 を継続	665 集落 (被害集落 939 集落)	R 元の被害発生集 落である 939 集落 の内 665 集落を支 援 (70.8%)	対象集落の内、被害 発生集落の 7 割以上 を支援 過去の実績から算出